

四季の変化

夏はなぜ暑いのでしょうか? 「寒かったら冬だ!!」これじゃ答えになりません。ところで皆さん、春分の日、夏至の日、秋分の日、冬至の日をご存知ですか? 春分の日と秋分の日、昼と夜の長さが同じ、夏至の日は一年で一番昼の長い日、そして冬至の日は一年で一番昼の短い日ですね。春分の日、秋分の日^{ひがき}は彼岸の中の日といわれ、また、この日をはさんだ前後3日の計7日間を彼岸といいます。ちなみに今年の秋分の日は9月23日なので、9月20日から26日までが、今年の秋の彼岸ということになります。彼岸には、お墓まいりに行く人も多いようです。また、冬至の日には、かぼちゃを食べたり、ゆず湯に入ったりします。

	春分	夏至	秋分	冬至
1984年	3月20日	6月21日	9月23日	12月22日
85	21	21	23	22
86	21	22	23	22
87	21	22	23	22
88	20	21	23	22
89	21	21	23	22
90	21	22	23	22
91	21	22	23	22
92	20	21	23	21
93	20	21	23	22

1984年から先10年間の春分、夏至、秋分、冬至の各月日

来年の春分の日は何日か？とか、さ来年の冬至の日はいつか？という質問をよく聞きますので、来年から向こう10年間の各日付けを表としてまとめておきました。

皆さんは経験から夏は昼が長くて、冬は昼が短いことをご存知ですね。 実際、富山では、夏至の日の昼の長さは14時間40分位あるのに、冬至の日には9時間40分位しかありません。 つまり5時間も違うわけです。 もちろん、春分の日と秋分の日も昼の長さが12時間です。 また案外、気につけないものですが、太陽の高さも季節によって違ってきます。 一日のうちで、太陽の高さが一番高くなるのは、ちょうど南へきた時で、この高さを南中高度なんちゅうこうどといいます。 この南中高度は夏至の日が一番高くて、富山では76.8度になります。 そして、春分、秋分では53.3度、また、冬至の日には29.9度しかありません。 太陽の高度は、日射量に大きく影響します。 たとえば、太陽高度が90度つまり頭の真上にある時の日射量を100とすると60度では87、30度では50、なんと半分になってしまいます。 夏は太陽高度が高くて、しかも太陽が照っている時間が長い。 そのため、夏は暑いということになります。(H.Y)



富山市科学文化センター

富山市西中野町3丁目1番19号 (〒930-11)

電話 富山 (0764) 91-2123 (代表)

昭和58年7月/日発行